

# 2019年度事業報告

(自2019年4月1日、至2020年3月31日)

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

## 1 事業の成果

自立援助ホーム「星の家」は、令和元年度を通しての平均入居者数は月当たり4.8人であった。年度内の新たな入居者は4名であり、実質9名に対して必要な支援を行った。そのうち1名が家庭に戻ったり、就職やアパートを借りて自立していった。数人の入居者による暴力的な言動により緊迫した場面が多々見られた1年であったが、そんな状況を何とか乗り切ることができた。

近年、社会的養護の経験がないまま、また就労経験を経ずに入居に至る者が大半を占めるようになっている。彼らは不適切な養育環境に長くありながら社会的養護の網から零れ落ち、重篤な虐待等家族関係の不調をベースに犯罪に巻き込まれたり精神疾患を有していたりしている。目的意識のないまま入居してくる子が増えており、彼らの自立までの道のりの困難さを改めて感じた。

一方で140名を超える退所者へのアフターケアには多大なエネルギーを費やさざるを得ない状況であることは変わらない。これまでも行き場を失ったOGが子連れで駆け込んでいることがあったが、支援のない中で厳しい子育てを強いられているOG達の存在を無視するわけにはいかず、12月にはこの問題に関心のあるボランティアとともに「ママと赤ちゃん家」を立ち上げた。子育てに苦しむOG達にとって実家の役割を果たしたいと考えている。

ファミリーホーム「はなの家」は、令和元年度を通しての平均入居者数は月当たり5.0人であった。年度内は入退居はなかった。年間を通して生活状況は安定していた。中学生が1名、高校生4名という状況には前年度と変わらなかったが、高校3年生が2名でいずれも進学を希望していたこともあり、志望校の選定、受験、奨学金の申請など、進学にまつわる相談や手続等に悩まされた1年であった。また、宇都宮市のショートステイ事業や児相の一時委託保護で計4名の子どもを預かったが、短期間のはずが1ヶ月を越えるというケースもあった。こうした地域の子育て支援については、問い合わせが増えてきており、ニーズへの対応を考えなければならない。

宇都宮市からの委託事業（要支援児童健全育成事業）の「月の家」であるが、19名13世帯の利用があった。母子や父子世帯、生活保護受給世帯の子どもが利用しているが、子ども達の状態も、障害や被虐待、不登校、不登校と様々な問題を抱え、どの家庭も社会的養護を必要とする子ども達ばかりであった。一人当たり週2回の利用とし、1回当たり約6名の利用があった。2018年9月に清原地区にもう一つの居場所ができたことで送迎の負担の緩和につながった。

栃木県より2017年度から受託している「子どもの居場所担い手育成事業」であるが、事業規模は縮小されたが、県内の子どもの居場所のスタッフの育成・支援を目的とした研修事業を中心に企画・実施した。基礎研修を4回実施し計77名が参加した。応用研修を2回実施し（3回計画したが新型コロナ対策で3回目は中止）計61名が参加した。ネットワーク会議（全体会）は1回実施した。また子どもの居場所の周知啓発のためにリーフレットを3千部を改定・増刷した。

収益事業としてチャリティーコンサートと星の家まつりが実施された。チャリティーコンサートは伊藤君子さんを迎えてジャズコンサートを開催し約80万円の純益を上げることができた。星の家まつりは道の駅うつのみやろまんちっく村で開催し約140万円の純利益を上げることができた。社会的養護の問題の啓発活動として、総会後中央地区研修会を開催し約100名が参加した。また虐待防止ネットワークとの共催で「第10回子どもの虐待をなくそう県民のつどい」をみやのわホールで開催し、プレ学習会（映画会「こども食堂にて」）に約100名、森田ゆりさんによる講演会に約200名が参加した。さらに会員向けに会報を2回発行した。

## 2 事業に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1. 青少年の自立に関する相談・援助事業	とちぎユースアフターケア事業協同組合の傘下で活動	年4回	とちぎユースアフターケア事業協同組合	職員1名	社会的養護の対象者	0
2. 自立援助ホームの運営	自立援助ホーム「星の家」の運営 (児童自立生活援助事業)	通年	星の家	職員3名 非常勤1名	社会的養護の対象者	22,087
3. ファミリーホームの運営	ファミリーホーム「はなの家」の運営 (小規模居住型 児童養育事業)	通年	はなの家	職員2名 非常勤2名	社会的養護の対象者	24,187
4. 居場所作り事業	要支援児童健全育成事業「月の家」の運営	通年～	月の家	職員1名 非常勤2名 アルバイト9名 ボランティア7名	社会的養護の対象者	15,334
	子どもの居場所担い手育成事業	通年～	月の家 栃木県庁	非常勤2名	居場所の担い手を育成・支援	710
5. 機関誌・会報の発行	会報の発行	年2回 (8月・1月)	支える会	職員1名	会員及び支援者 1100名	259
6. 会員拡大のための事業	中央地区研修会	5月26日	済生会宇都宮病院(みやのわホール)	職員3名 非常勤1名 ボランティア数名	県民参加者 100名	0
	②「子ども虐待をなくそう県民の集い」	11月17日	済生会宇都宮病院(みやのわホール)	職員3名 非常勤1名 ボランティア数十名	県民参加者 200名	0

(2) その他の事業 (収益事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	事業費の 金額 (千円)
バザー	第22回星の家まつり	10月20日	道の駅 うつのみや ろまんちっ く村	職員7名 ボランティア 130名	385
チャリティー コンサート	第21回青少年の自立を 支える会コンサート	2月24日	宇都宮市文化 会館大ホール	職員7名 ボランティア 69名	1,146